

平成27年度第6回新名取市図書館施設整備検討委員会議事録

会議名	第6回 新名取市図書館施設整備検討委員会	
日時	平成28年1月8日(金) 14時00分～15時20分	
場所	名取市図書館 南館	
出席者 【12名】	委員7名	早川光彦、志賀保史、板橋正春、三塚玲子、下澤なおみ 長沼明子、大野千晴
	事務局3名	図書館 柴崎悦子館長、西山真喜子司書、石川雅一主査
	説明員2名	増田復興再開発推進室 松原妃主事 (株)山下設計東北支社 大平順子主任
欠席者	委員2名	天間環、佐伯幹子
	アドバイザー	岡本真
傍聴者	なし	

1 開 会

◎事務局

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。では、平成27年度第6回新名取市図書館施設整備検討委員会を始めてまいります。それでは開会に当たりまして、あいさつを早川委員長にお願いしたいと思います。

2 あいさつ

◎早川委員長

委員の皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

大野委員と先ほど話していたのですが、名取市の新図書館はオープン予定が平成30年度内ということで、それに向けて着々と進行しているところです。

宮城県内は平成30年度までに、はっきりしているだけでも4つの市立図書館が新設することになっています。北から、気仙沼市、大崎市、多賀城市、名取市の図書館で、この中では名取市が最後にオープンする予定になっています。早いところでは多賀城市の図書館がツタヤ図書館として今年の春にオープンするという状況です。

県内図書館を見渡してみますと、昭和40年から50年代につくられた市立図書館が非常に多く老朽化や狭隘化してきていることと、これからの新しい時代に沿った図書館サービス・運営していく時期と重なっているのだらうと考えられます。県南の図書館について具体的な動きはありませんが、委員の皆様もご存知のとおり、かなり老朽化してきています。そのような中で、近隣のお手本となるような新図書館が名取市に誕生するのだらうと思っています。

今日は議題が2つ示されておりますので、ご審議をよろしくお願いいたします。以上

でごあいさつとさせていただきます。

◎事務局

はい、ありがとうございました。続きまして、本日の会議ですが、新名取市図書館施設整備検討委員会設置要綱では、会議出席者数による定義は特にございませませんが、欠席された方は委員2名とアドバイザーです。

本日の会議は、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により公開の対象となりますが、本日傍聴の方はいらしていません。

また、非公開となるような議事の予定はしていませんが、非開示情報が含まれる場合は、会議に諮り決定していただくことになっております。

なお本日の会議録につきましては、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条の規定により、市政情報コーナーで会議を開催した日が属する年度の翌年度の4月1日から起算して3年間、閲覧に供される他、インターネット上、市のホームページに1年間公開されます。公開時の名前は、名字 ○○委員と表記されますのでご承知願います。

3 前回会議の報告

◎事務局

次に前回会議の報告になりますが、本日の通知と議事録を送らせていただいておりますので、ここでは省略させていただきます。

4 議事

(1) 2階3階フロアのレイアウト図面の確認について

◎事務局

それでは議事に入ってまいります。設置要綱第5条により議事の進行を早川委員長にお願いします。

◎早川委員長

それでは議事に移ります。前回委員の皆様からいろいろなご意見を頂きました。それらを踏まえて示されておりますレイアウト図面について、まず2階部分からご審議いただきたいと思います。それでは事務局から説明をお願いいたします。

◎柴崎館長

皆様、明けましておめでとうございます。本日は新年早々の会議ですが、お集まりいただきありがとうございます。それでは早速説明します。

これまでの会議で皆様からいただいたご意見をまとめたものがお手元の資料です。最終的な家具レイアウトの図面になります。前回お示ししました図面と異なっているところを中心にご説明させていただきます。

まず2階部分ですが、雑誌架について、前は形がそれぞれまちまちに4本並んでいました。これを同じ形の雑誌架にし、3本斜めに配置しました。

それから雑誌と新聞コーナーのところを区切るような形でソファを置いておりましたが、雑誌架の上側の方へ移動させました。

細かいことになりますが、新聞を読む大きな机や新聞の収納棚の向きを縦横入れ替えております。

また、その机ですが、前は6人掛けを2つでしたが、4人掛けを2つに変更しました。次に児童コーナーになります。

前の図面では、児童コーナーの中央にカウンターがありましたが、AVコーナーの利用者にも対応できるような位置に配置したらどうかというご意見がありましたので、レイアウト図面の位置へ変更しました。児童コーナーの利用者だけでなく、AVコーナーの利用者から声をかけられた際すぐに対応できるようになったと考えます。

また、カウンターを動かしたことによってカウンターの向きも横から縦に変更しています。

それからテーブルについても、児童コーナーの左側に縦に配置していたものを中央部に移動しております。

今回レイアウトを変更するにあたり全体を通して一番気を付けたことは、利用者の動線を塞がないように心がけました。

ブラウジングスペースの利用者がトイレに行く場合、まっすぐではなく少し回り込まなくてはならない部分もありましたので2階全体の中央部を少し空けました。

児童コーナーのおうちですが、このコーナーのシンボリックなものにしたいという思いがありましたので、前回よりも大きめのものでコーナーの中央部へ配置しました。

2階部分についての大きな変更点は以上です。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。2階部分は座席数が130席、資料の収蔵冊数が33,160冊となっておりますが、実際はさらに2割以上は入ります。では委員の皆様から確認を含めご意見を頂戴したいと思います。

◎板橋委員

33,000冊以上は入るとのことですね。

◎早川委員長

そうですね。計算上は余裕を持たせた数字となりますので、実際には2割増し、3割増しで入ることが多いということになります。

◎板橋委員

前回よりも児童書架が3,800冊程度減ったようですね。

◎早川委員長

そうですね。計算上減っておりますが、一般的には児童コーナーに3万冊入れれば結構入る方になります。ちなみに南相馬図書館の子ども図書館は25,000冊となっています。

◎板橋委員

児童コーナーのカウンターでも一般の本を借りられますか。

◎柴崎館長

当初から児童コーナーのカウンターでも、館内どこから持ってきた本でも借りられるようにしていましたが、今回はより一層大人でも借りやすい位置にカウンターを配置しました。

◎早川委員長

ご覧のように児童コーナーはかなり力を入れ充実した形になっていますね。前回より動線や家具の収まり具合が整理され、かなり分かり易くすっきりした形になっているかと思われます。

◎大野委員

児童コーナーのおうちが大きくなって良かったですね。

◎早川委員長

前回の委員会でもいただいたご意見がかなり反映されていますね。

◎下澤委員

おはなしのへやは靴を脱いで上がるのですよね。

◎柴崎館長

前回の会議で、靴を脱いで入るための下駄箱が欲しいとのことでしたが、おはなしのへやの入口に下駄箱ではなく、一段高くしてその中に靴を仕舞えるような収納を考えて

います。

◎早川委員長

確認ですが、おはなしのへやは図書館が主催するおはなし会以外にもボランティアの方の読み聞かせにも対応できるのでしょうか。それとおはなし会や読み聞かせ以外の通常時の使い方の説明をお願いします。

◎柴崎館長

一点目についてですが、現在名取市図書館では図書館主催以外のおはなし会はしておらず、全ての行事は図書館主催となっております。今後おはなしのグループの方々が、この場所でおはなし会をしたいというご要望が出てきましたら、ぜひご活用していただきたいと考えております。

二点目の日常的なこの部屋の使い方ですが、おはなし会で使っている時は自由に出入りすることは難しいかと思いますが、日常的には全て開放し、普通に親子が入って本を読んだりできるスペースと考えております。

◎早川委員長

はい、ありがとうございます。

◎三塚委員

カート置場はこのくらいのスペースで足りませんか。

◎柴崎館長

カートは今のところ10個程度用意したいと考えています。その個数が入るのに十分なスペースを確保しています。

◎長沼委員

おはなしのへやの段差はどのくらいですか。

◎柴崎館長

15 cmになります。

◎長沼委員

小さいお子さんだけでなく、例えば車椅子のお子さんをご利用する際には、スロープを付ける準備はあるのでしょうか。

◎柴崎館長

おはなしのへやはカーペット又はじゅうたんにする予定です。車椅子で中まで入れる仕様ではありませんので、車椅子の方がおはなし会に参加する場合は、そのまま中に入ることは難しいので、できるだけ中を向いて聴いていただくようになるかと思います。

◎早川委員長

2階フロアについて、おはなしのへや以外は一切段差の無い車椅子対応の家具設置ということによろしいですね。

確認したいのですが、雑誌の収蔵予定タイトル数、新聞のタイトル数、それと自動貸出機と検索機の位置のご説明をお願いします。

◎柴崎館長

雑誌のタイトル数は、新名取市図書館整備基本計画では200タイトルとしております。現在は106タイトルですので、ほぼ倍になるというイメージです。

新聞のタイトル数は現在同様12紙を考えています。

自動貸出機の位置は、貸出・返却カウンターの前に2台設置、検索機は柱に付けるように、新聞コーナーに1台、雑誌コーナーに1台、児童カウンターに1台、計3台の設置予定です。

◎早川委員長

児童コーナーに自動貸出機は無いということですね。

◎柴崎館長

設置予定はありません。

◎早川委員長

ここの部分ですが、オープン時は無くてもよろしいかと思いますが、将来的に増設できるように配線した方が良くと思います。といいますのは南相馬の図書館では、設計段階から図書館側は児童コーナーにも自動貸出機を取り付けたいという考えがあった一方で、設計側で児童はフェイス・トゥ・フェイスが重要だという考えだったため、設計側の意向が反映された形でオープンし運営してきたのですが、昨年児童コーナーで増設しました。利用者数もかなりの数になり、オープンし2年、3年経ったころは自動貸出機にもだいぶ慣れてくるだろうと思われまので、後々変化に対応できるような配線にしていた方が良くと思います。

2階フロアについて他にありますか。無ければ3階フロアの家具レイアウトについて事務局からご説明をお願いします。

◎柴崎館長

それではご説明します。先ほど申しましたように、利用者の動線を意識して修正しま

した。

大きな変更点としては、前回のレイアウト図ではカウンターの位置が右上にありましたが、階段で上がって来られた方がすぐに分かるように中央へ変えました。

また、前回の図面では、回り込まないと準開架書庫へ行けないような動線になっていましたが、棚の位置をずらし中央部の通路を広めに確保したことで直接行けるようにしました。

次に前はエレベーター脇にソファがありましたが、ソファではなく机を配置し、ソファは階段とエレベーターの間に変えました。このことにより動線がかなり確保できたと考えております。

大きな変更点は以上となります。よろしく申し上げます。

◎早川委員長

はい、では委員の皆様からご質問等ありますでしょうか。

◎下澤委員

座席数が気になりますが、スツールが前回よりも減ったのではないのでしょうか。準開架書庫の向かいの右側書架脇にスツールを並べても良いのではないのでしょうか。

◎柴崎館長

設計に関する事ですので、山下設計の大平さんより申し上げさせていただきます。

◎大平主任

通路が少し狭いのではないかと思います外したのですが、このスペースは少し混み合っているとも良いかと思しますので、右側書架脇に左側同様、スツールを追加配置します。

◎大野委員

カウンターが中央部に移動したことにより、セキュリティ面でより安心でき、さらにハンディキャップサービスの対応しやすい配置になりましたので、良い設計ではないかと思えます。

◎早川委員長

私も同感です。カウンターについてですが、今の配置の対角線上にもう一つL字型カウンターがあれば、増えてくると思われる資料相談やハンディキャップサービスに素早く対応しやすくなると思います。非常に良い位置に設置したと思えます。

◎大野委員

委員長がおっしゃるもう一つのL字型カウンターというのは、図面上のどの場所になりますか。

◎早川委員長

カウンタースペースの右上部分になります。カウンターが向いている方向のサービスは図面上のカウンターで対応できますが、対角線上にもう一つ設置すればハンディキャップ利用者への支援がすぐできるということと、資料相談や調べものの支援ができるようになると思います。

柴崎館長から説明がありましたように、このカウンターの目の前の通路を広く取ったことにより、非常に分かりやすく、利用者の動線もなるべく交差しないようになったと思います。3階の席数は150席で、資料の収蔵冊数が106,640冊となっていますが、これも先ほど申し上げましたようにこの数字より入ります。表紙見せをしても入ることです。数字上で言いますと、2階3階合わせてオープン時で150,000点以上入っている図書館ということになります。

◎下澤委員

図書館利用者の方から意見をいただいたのですが、書架の一番下の段は南相馬の図書館のように斜めになっていて見やすくなっているのでしょうか。

◎柴崎館長

現在考えている書架は直立の書架です。直立書架の場合、どうしても最下段が見にくくなるという欠点がありますので、工夫してなるべく斜めになるようにしていきたいと考えます。

◎早川委員長

南相馬は逆T字型と呼ばれる形をしていて、最下段には出っ張りがあり、金属を斜めに入れてあります。このことにより南相馬と名取市との大きな違いは、書架間通路が名取市の方が広いということになります。南相馬は逆T字書架にしているため、有効通路幅が1,200です。ところが、この図面では1,545の有効通路幅がありますのでゆったりしています。ゆったりしているということは、柴崎館長がおっしゃったように最下段を工夫できれば相当見やすくなります。

逆T字型の良いところは、逆T字の出っ張ったところにいろいろな展示ができる場所ですね。それに書架の中に一人だけ座れる読書席がありますが、それも逆T字の出たところに椅子を配置できるからという面があります。

名取市の直立型書架の良いところは、逆T字のように出っ張っていませんので有効通

路幅が 1,545 も取れるという点になります。受ける感じは相当違います。南相馬より 30 cm 以上広いということになりますので、それだけでも最下段は本を取りやすいということになります。席数や丸型展示テーブルも 3 ヶ所ありますので、書架の形を含め全体的に考えられたのだらうと思います。

最下段の扱いは本当に難しいのですが、今は傾斜を付ける技術が進んでいますし、その上これだけの通路幅が取れていますので、かなり見やすいのではないかと思います。

◎板橋委員

(会議場所の書架を指し) この書架は傾斜がついているように見えますが、このくらい傾斜がついているとどうでしょうか。

◎早川委員長

もう 5 cm 程度上げて傾斜を付けるだけでもかなり見やすくなりますし、車椅子の方でも十分取りやすくなると思います。今は車椅子の方が最上段から最下段まで取れる高さが求められますので。傾斜を付けるとちょっと本が飛び出してしまうという点があります。同じことが児童の絵本棚にも言えます。子どもの力で引き抜くことができ、かつ背表紙が見やすい工夫は必要だと言えます。

最下段の工夫している図書館はいろいろありますので、もうひと踏ん張り頑張っていたきたいと思います。

◎三塚委員

レファレンスサービスを受けるところは、カウンターの右上の場所を考えているということによろしいのでしょうか。

◎柴崎館長

先ほど早川委員長からご提案がありましたように、対角上に L 字型とし、柱があることによりプライバシーを確保しやすくなることから、柱を利用した形のカウンターを配置したいと考えます。委員会終了後、大平主任と詳細を詰めていきたいと思います。

◎三塚委員

椅子に座って相談を受けるようになると思われますが、椅子の場所が通路上になりますので、例えば全体的に場所を移動させると相談を受ける人が出っ張らずに済むのではないかと思います。

◎大平主任

柱に椅子が並ぶような感じにして、車椅子の方が曲がれるぐらいのスペースを確保す

れば、椅子を引いても後ろを歩いている人にぶつからないのではないかと考えます。

◎早川委員長

前回申し上げたかもしれませんが、資料相談とレファレンス対応について気になります。南相馬はセパレートで資料相談デスクが2つあるのですが、土・日曜日は足りない状況になっています。資料が10万点を超えますと、自力で本を探すということがとても大変な作業になります。もはや大型書店と言えるわけですね。例えば主題がまたがった場合、職員が何ヶ所に行かなくてはなりません。そうなりますと相談者が並ぶ状況も出てくるでしょうし、皆さん遠慮してしまいます。

具体的には、カウンターの相談者の座席は2人座れるようにして、同時に対応できるようにすると良いと思います。カウンターの大きさですが、一つは小さ目にし、もう一方は大き目につくればよろしいのではないのでしょうか。

南相馬での反省点は専用のデスクがあっても足りなかったということです。期待が大きい図書館ほど相談数は増えると考えてください。

◎大平主任

こちらは再度レイアウトの修正をさせていただきます。

◎板橋委員

自動貸出機の数は減りましたか。

◎柴崎館長

数は減っておりません。柱ごとに自動貸出機と検索機を交互に並べております。

◎早川委員長

一般的に考えて、返却対応は2階ですることが多いかと思いますが、先ほどのご説明も合わせますと、機能的で利用者の方も使いやすいかと思います。丸型展示テーブルも階段からすぐに分かる位置にありますのでよく考えられていると思います。欲を言えば、あと1つ丸型展示テーブルがあってもよいかと。

その他ありますでしょうか。無ければレイアウトについては以上とします。

(2) 情報発信コーナーのネーミングについて

◎早川委員長

では次に(2)情報発信コーナーのネーミングについて、事務局より説明をお願いします。

◎柴崎館長

前々回の会議で、情報発信コーナーの考え方やレイアウトについてご説明しましたが、その時に仮の名前であるとお伝えしました。今後この郷土資料や名取市の情報を発信するというこのコーナーの名前を決定していかなくてはならないのですが、本日この場で決定というのではなく、皆さんの中から自由に思いついたこととお話ししていただき、それを今後決定するにあたっての参考にしたいと思います。よろしくお願いします。

◎大野委員

公募の予定はありますか。

◎柴崎館長

建物全体の愛称ではありませんので、公募は考えておりません。

◎志賀委員

主に郷土資料を収める部分と考えてよいのでしょうか。

◎柴崎館長

そうですね。名取市の郷土資料、行政資料や震災関連の本を収める場所になります。ここで名取市のいろいろな情報を得られるようにすると考えています。

◎志賀委員

聞いた瞬間に郷土資料があるんだというネーミングがよろしいわけですよ。

◎早川委員長

今のようなご意見がよろしいわけですよ。名前を見て郷土資料があるんだということが分かるようなもので。

◎柴崎館長

コーナー名で名取のことが分かるというものが良いと思います。

◎板橋委員

このコーナーは名取に関して検索できるようにするわけですよ。

◎柴崎館長

情報検索コーナーのところで、自分で操作して情報を引き出せるようなものを設置し

たいと考えています。

◎板橋委員

郷土資料や情報検索といったことを踏まえて考えてみてはどうでしょうか。一言で表すことができるかは別にして。

◎大野委員

すでにテーブルが雷神山古墳を表していますので、一つは「雷神山」。もう一つは能・狂言に名取川という演目がありますので、それにひっかけて「名取がわ（ガワ）」というキーワードはどうでしょうか。

◎板橋委員

能といえば、今度何十年ぶりかで「名取ノ老女」が上演されますよね。

◎大平主任

設計担当としては、ここは「名取市の宝箱」という考えがありまして、ここに来たら名取市のことが分かるというものを盛り込んでいます。他県から来られる方に対しても、パソコンで名取市の情報が検索できるようにしたり、名取市のマップを壁に張って、例えばオススメの場所はここ、というようにポストイットを貼れるようにすることを考えています。ここに来たら最新の名取も分かるし、昔の名取も分かるというイメージで設計しています。

◎板橋委員

歴史等に詳しい人が地図を見て興味を持つように、ここで情報発信できるようなものをつくるということですよ。

◎大平主任

そうです。最新の情報、例えば紅葉の見ごろの場所の紹介をポストイットで貼って情報を共有できるようなイメージで進めています。

◎下澤委員

今のお話しを伺って思いついたのは「名取の今昔」。

◎三塚委員

雷神山だけでなく今のことも必要なんですよ。 「名取宝箱」や「ふるさとギャラリー」はどうでしょうか。

◎大野委員

公募とまではいかなくても、図書館の常連になっている利用者の方のご意見をいただいても良いかと思えます。

◎早川委員長

大抵は郷土資料コーナーとしているだけですので、名前をつけるというのはなかなかありませんから、素敵な名前が見つかるとういすね。

◎柴崎館長

いろいろなご意見ありがとうございました。

今委員の皆さんからいただいたご意見を踏まえて、事務局で検討する時の参考にしようと考えています。

それから前々回の会議でこのコーナーは奥まった場所にあってもったいないというご意見がありました。複合ビルの中に入る図書館ということで、制約がある中でこれだけのスペースを確保できる場所というところの場所しかなかったと検討経緯がありました。

ここに利用者を誘導するための仕掛けとして、カフェを上手く利用したいと考えているところです。コーヒーやお茶を提供するだけにとどまらず、昔の名取の写真を展示したり、それをきっかけに語り合えるようなイベントを時々開催して、さらに深く知りたい人は情報発信コーナーへ誘導するような流れをつくりたいと考えています。

◎板橋委員

情報発信コーナーでもそういうイベントをするのではないですか。

◎柴崎館長

情報発信コーナーでもイベントはしますが、このコーナーへ誘導するための何かイベント的なことを使ってできるのではないかと考えています。

◎早川委員長

サテライト展示を含めた考えですね。南相馬では、米軍が撮った航空写真や国土地理院に引き継がれ3年ごと、5年ごと定期的に更新した航空写真を入手できます。それはエリアごとに家一軒一軒が特定できるほどのものです。

この場所は名取の過去・現在・未来につながるような素敵なコーナーになると良いですね。良いアイデアがあったら事務局までご連絡してください。

(3) その他

◎早川委員長

では（３）その他ですが、何かありましたらお願いします。

事務局からも無いでしょうか。

無いようですので、本日の議題（１）から（３）は以上とさせていただきます。ありがとうございました。事務局に進行をお渡しいたします。

◎事務局

ありがとうございました。今年度の検討委員会は本日が最後になります。新年度の検討委員会はスケジュールをまだ決めておりませんので、改めてご通知を差し上げるようになりますのでよろしく願いいたします。以上をもちまして本日の検討委員会を終了します。ありがとうございました。